

令和7年度 中学校

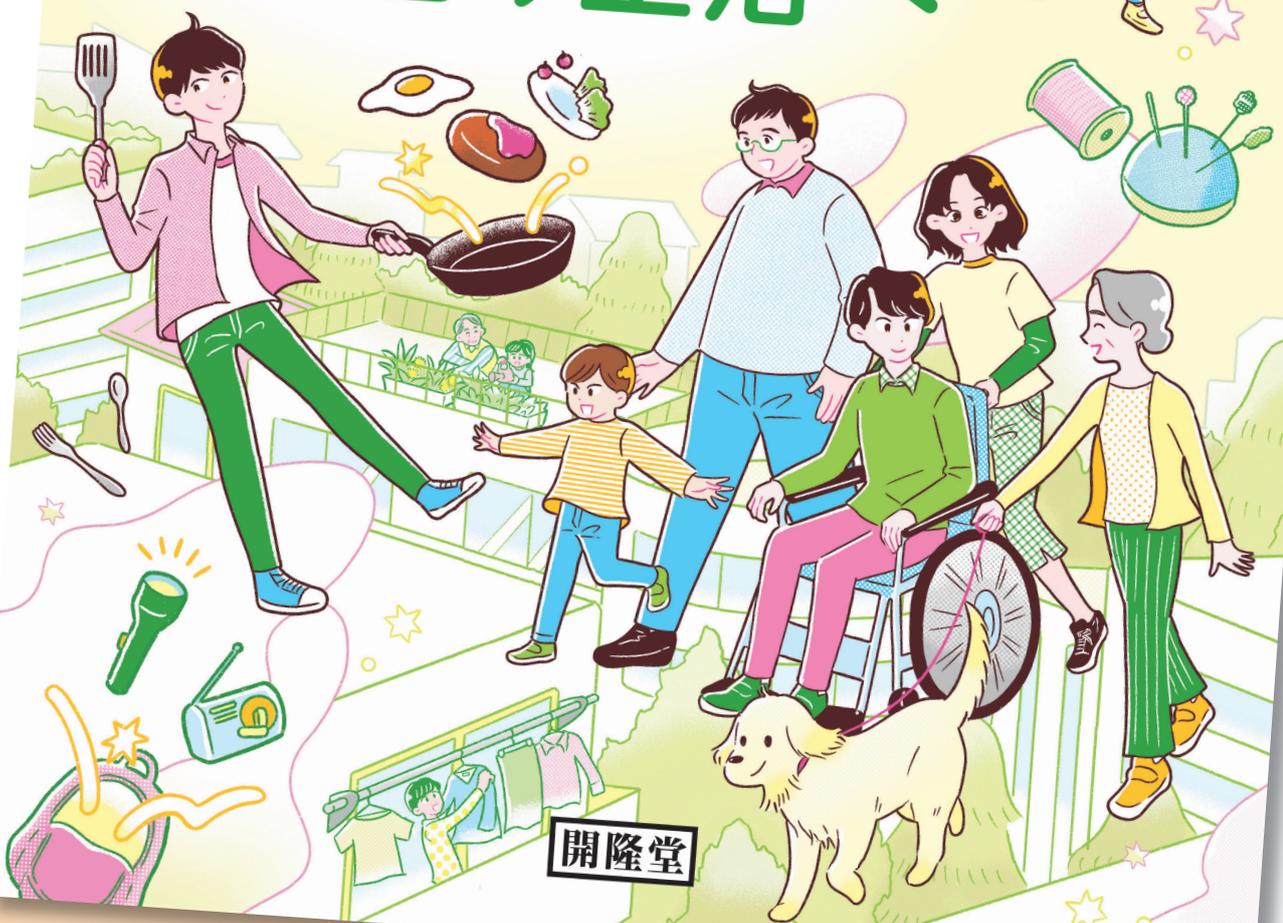
家庭分野

内容解説資料

検討の観点 と 内容の特色

技術・家庭 家庭分野

自立とともに 支え合う生活へ



1 教育基本法(2条)との関連

| 検討の観点 | 内容の特色 | 具体頁の例 (P.) |
|--|--|---|
| <p>第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●各内容を学習の目標、導入課題、本文と展開し、最終章での「学習のまとめ」で自己評価する構成で、問題解決学習への取り組み方を視覚的・具体的に示している。本文以外にも、参考やイラスト・写真などで多彩な事例を示し、幅広い教養が身に付くようにしている。日常生活の中で興味・関心や疑問に思うことなどの問いかけを設定し、生活を科学的にみて、真理を探究する態度を養えるようにしている。 ●家族や地域の人々、周囲の人々など多くの人々に支えられていることを理解するために、多くの事例を示している。 ●健やかな成長のためには、国の法律・制度によって整えられた環境が必要であることを理解するための資料を充実させ、直接的には食事による体力づくりの必要性に関する内容が充実している。 | <p>全体</p> <p>18・19、58・59、70～81</p> <p>73～75、90～95</p> |
| <p>第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養うよう、自分の考えを記入できるように工夫している。各内容各章に、創造性を培う活動場面に「話し合い・考察・調査・実践」などの課題を設定している。 ●教科書全体で自立をテーマに、生活を問い直し改善できるよう、考え、体験する学習を充実させている。さらに「生活の課題と実践」では、学習したことを生活に生かし課題をもって主体的な取り組みができるよう、多様な課題例を掲載している。 ●調理実習や製作では、生徒の意欲を尊重し、つくりたいものを考えることを促している。 ●職業観を養い、社会に目を向けられるよう、実際に働いている方や活動している方21名からのメッセージを関連該当箇所及び各内容の最終頁で紹介し、将来の職業選択の参考になるようにしている。 | <p>全体</p> <p>全体</p> <p>128～151、156・157、164・165、168・169</p> <p>32、62、70、72、85、90、153、171、175、210、229、239、259、282、289</p> |
| <p>第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●自立や共生とはどのようなことか、自分や周囲の人たちの生活をふり返って考えを表明する場面を設け、主体的な思考活動ができるようにしている。 ●家庭でも社会でも男女が協力して支える社会をめざす男女共同参画社会の重要性を示し、図・写真・イラストなどを中心に公平な配慮をしている。 ●共生社会をテーマに、様々な人々と関わり合っていくことの必要性を理解し、人々と支え合い、分かち合い、これからの社会を考えられるよう、事例を充実させ、工夫している。 ●地域の人々とともに協力して主体的に社会の形成に参画できるようにいろいろな事例を取り上げている。 ●実習や活動を通して、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるように写真やイラスト等にも配慮している。 ●これからの社会を生きる主体として、権利には責任が伴うことを示し、公正な社会に向けた取り組みを随所で取り上げ、具体的に考えられる課題を工夫している。 | <p>10・11、36・37</p> <p>全体</p> <p>10・11、18・19、76～81</p> <p>76～81</p> <p>全体</p> <p>274～277、283 他</p> |
| <p>第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●自然を大切にし、環境を保全することの大切さに気付き、意識化することができるようにしている。また、持続可能な社会の構築の視点から、教科書全体にわたって環境への配慮の記述をしている。さらに、環境に関わる学習ポイントを示す環境マークを付すなどして、環境保全に寄与する態度を身につけることを目指して構成している。 ●災害や防災などの事例を積極的に取り上げ、日常的に防災への意識を高め、生命を貴ぶ態度を身に付けることをめざして構成されている。調理実習や製作実習でも、防災に関連するものを取り上げている。 | <p>8・9、172～174、226～228、256～258、284～288</p> <p>81、156・157、220、242～258</p> |
| <p>第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ●伝統文化を示すマークを該当箇所に付している。伝統的な幼児の遊びや和食、郷土料理、伝統的な民家や建築技術、和服などを数多く取り上げ、日本各地の伝統文化の事例を充実させることで、我が国の独自の文化と先人の工夫に気付き、愛着をもつとともに、日本人としての誇りが育まれるようにしている。 ●諸外国に目を向ける事例を豊富に取り上げ、世界の国々に関心をもち、他国と協力して、これからの国際社会に貢献しようとする態度を育むようにしている。 ●人とのふれ合いや関わりを通して、感謝の気持ちを表したり、世代の異なる人や他国の文化など交流したりすることで、他者、他文化を尊重する大切さがわかるようにしている。 | <p>56、158～165、206～209、240・241、257</p> <p>77、83、172～174、284・285、288、304～309 他</p> <p>292～303</p> |

2 学習指導要領との関連

| 検討の観点 | 内容の特色 | 具体頁の例 (P.) |
|--|---|--|
| 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造する資質・能力を育成する。 | ●生活の営みに係る見方・考え方の観点をいつも確認しながら、それぞれの題材の中で、実践的・体験的な活動を通してよりよい生活の実現に向けて生活を工夫し創造する資質・能力が育まれるように構成している。 | 7、34・35、47、60、63～69、79、94、100・101、117～123、128～151、212～225、267、281、 |
| (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 | ●家族・家庭の機能について、仕事や社会の仕組みなどを通して、理解が深められるようになっている。 ●家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて生活の自立に必要な基礎的な理解を図り、それらに係る技能が確実に定着するように、紙面での表現が工夫されて、身に付けられるようになっている。 | 4・5、10・11、22～25、92・93、98～115、118～123、128～151、156・157、164・165、168～171、190～199、212～225、244・245、267、276・277、282・283、287、298～303 他 |
| (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどこれからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 | ●生徒の日常生活の中から問題を見出し、課題を設定することができるように、ヒントを提示し、主体的にさまざまな解決方法を考える手立てが示されている。実践し、実践を評価・改善して考えを発表するためのいろいろな手法を用いて、主体的・対話的・深い学びを通して課題を解決する力が養える。 | 12・13、292～303 |
| (3) 自分と家族・家庭生活や地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて生活を工夫し、創造しようとする実践的な態度を養う。 | ●家族や家庭生活と地域の人々との関わりを考え、家族と家庭生活を工夫し、創造しようとする実践的な態度を養うため、題材を工夫して配置している。 | 18・19、22～25、70・71、76～81、297 |
| 内容構成に関する対応 | ●学習指導要領の「家庭分野の目標及び内容」「指導計画の作成と内容の取扱い」が明確に整理され、個に応じた創意ある学習指導が展開できる構成である。 | 18～85、90～175、184～229、234～259、264～289 |
| | ●学習指導要領の内容 A・B・C を関連付けて学習できるように工夫した構成で、無理なく基礎・基本をおさえた学習ができるように、適切な配慮をしている。 | 16～87、88～261、262～291 |
| | ●生活の営みに係る見方・考え方に示された視点が全体を通して展開されている。 | 全体 |
| | ●家庭分野の3つの内容 A、B、C が空間軸と時間軸で整理されており、空間軸の視点である自己と家族・家庭・地域と、時間軸の視点であるこれまでの生活及び現在とこれからのわかりやすく記述されている。 | 4・5、18・19、22、40・41、76～81、90・91、106・107、158～165、206～209、238 |
| ガイダンスや「A 家族・家庭生活」の(4) 生活の課題と実践に関する対応 | ●ガイダンスが冒頭のページに設けられていて、小学校の学習をふり取り、小学校や他教科との関連に気づき、3年間の学習の見通しがもてるようになっている。 | ①～5 |
| | ●A(4)、B(7)、C(3)の生活の課題と実践については、生徒が家庭や地域で実践できるように実践の進め方やまとめ方が掲載されているので計画を立てやすい。また多種多様な課題例を豊富(10例)に紹介し、生徒が課題の設定と実践のイメージをもちやすく工夫している。 | 296～303 |
| 家族・家庭生活に関する内容の充実への対応 | ●家族や幼児・高齢者など異なる世代の人たちと関わり、地域の中で共に生活する視点で項目を構成している。 | 58～81、90・91、162、234、238、242・243 |

〔家族・家庭生活に関する内容の充実への対応例〕

中学生とは異なる世代の幼児が過ごしている場所を視覚的に示して理解しやすくしている。⇒p.66・67



〔食育の推進に関する内容の充実への対応例〕

目には見えない栄養素を体験的な活動や動画を通して理解できるようにしている。⇒p.100・101



2 学習指導要領との関連

| 検討の観点 | 内容の特色 | 具体頁の例 (P.) |
|-------------------------------------|---|---|
| 食育の推進に関する内容の充実への対応 | ● 食事の役割について考え、調理の基礎を習得し、栄養を考えた食事の献立を立てることができるよう、ステップアップしながら学習が進められる題材構成になっている。 | 90・91、114・115、116～151、166～171 |
| | ● 自らの食習慣を見直して食生活を改善するなど、健康に過ごすための実践的な態度が育てられる。 | 92・93 |
| | ● 「中学生に必要な栄養素を満たす食事」の学習が実感を伴って理解できるように「食べものは体の中でどうなるのかみてみよう」で栄養素のゆくえの図化や「1日にとりたい食品と分量」を実物大写真で示したり、実験例で目に見えない栄養素を視覚的に示すなどの工夫をしている。 | 100・101、104・105、108～113 |
| | ● 地域の食文化について、「和食の特徴」にもふれ、地域の食材を取り入れた調理にも対応できるように、郷土食や伝統的な食文化を具体的に示している。 | 158～165 |
| | ● 食事のマナーや食物アレルギーについて取り上げられている。食物アレルギーについては「いのちを守る視点」を重視し、調理実習例の材料では、アレルギー物質を含む材料を調理例ごとに明記している。 | 118、155、128～135、138～143、146～149 |
| 日本の生活文化に関する内容の充実への対応 | ● 日本の生活文化について衣食住の各内容で取り上げ、生徒の生活する地域との関わりや先人の知恵から学ぶ視点で理解することができるようになってきている。また、「伝統文化マーク」が日本の伝統的な生活文化を取り上げた箇所につけられていて、わかりやすく示している。 | 158～165、206～209、240～241 |
| 消費者教育に関する内容の充実への対応 | ● 消費者教育として基本的に共通することをていねいに扱っているほか、他の学習内容と関連付けて取り扱い、消費者としての実践的態度が身に付けられるように工夫している。 | 264・265、272、274・275、278～283 |
| | ● 消費生活の仕組みや売買契約、消費者の権利と責任について課題をもって活動できるように工夫した構成になっている。 | 264・265、274～277、280・281 |
| | ● 持続可能な社会に向けた消費行動、環境への影響を考慮することができ、消費生活に必要な情報の収集・整理ができる構成となっている。SDGsの視点を根底に据えながら、生徒が自立した消費者として消費者市民社会の中で取り組めるように、具体的に示している。 | 284～288 |
| | ● 基礎的・基本的な知識や技能に関する内容が厳選して的確に記述され、易から難へと確実な習得ができるように工夫されている。 | 22～37、44～57、76～81、90～95、98～107 |
| 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための内容の充実への対応 | ● 調理や製作などの実習手順は、生徒の視線の流れ、特別支援教育を考慮して見開きページを使って横に流れる記述で、基礎・基本を習得するための適切な配慮をしている。 | 117、128～135、137～143、146～149、164・165、196・197、208・209、214、217～225 |
| | ● 調理の実際において、「調理方法 Q&A」が設定され、科学的根拠に基づいた知識・技能が図られるようになってきている。 | 128～135、138～143、146～149 |
| | ● 技能面の写真は詳細かつわかりやすくていねいに表現され、細部については拡大写真やイラストを添えるなどして、きわめて適切な配慮がされている。特に調理の手順については写真で示されているので、生徒が状態を確認しながら作業を進められる。 | 120～123、128～135、137、138～143、146～149、164、196・197、208・209、213～225 |
| | ● 学習で習得した知識及び技能などを実生活で活用するために「生活の課題と実践」として多種多様な課題が豊富に設定され、実践的な活動が家庭や地域などで行える。 | 292～303 |
| 知識及び技能を実生活で活用するための内容の充実への対応 | ● 学習のまとめりに「学習のまとめ」があり、学習の自己評価ができるとともに、身に付いた知識や技能などを生活にいかすことのできる仕組みになっている。 | 86・87、176・177、230・231、260・261、290・291 |
| 生活の営みに係る見方・考え方と関連をはかるための対応 | ● 生活の営みに係る見方・考え方についてガイダンスで具体的に示され、かつ教科書全体に貫かれており、一連の学習過程の中で「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせることのできる構成になっている。 | 全体 |

〔食育の推進に関する内容の充実への対応例〕

アレルギー物質を含む食材を目立たせている。⇒p.128・129



〔知識及び技能を実生活で活用するための内容の充実への対応例〕

各章末で学習を振り返ることができる。⇒p.260・261



3 学習指導上の効果や編成

| 検討の観点 | 内容の特色 | 具体頁の例 (P.) |
|---|---|--|
| 生徒の主体的・対話的な学習への工夫がなされているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ●学習のまとめごとに見直しをもち、生活の中から課題を見つけられるような本文の記述や課題が配置され、主体的に課題に取り組めるように工夫がされている。また、項目の導入では、生徒の身近な話題を用いながら生徒がそれぞれの学習に興味・関心をもって取り組めるようになっている。 ●生徒同士で対話をしたり意見を交換できるような学習活動(アクティブ・ラーニング)を多数取り入れており、生徒同士や家族・身近な人たちとの会話なども通して考えを明確にするなど、生徒自らの考えを広げて深められるような仕組みになっている。 | 18、22、26、30、36、40、44、46、48、52、54、58、60、62、68、70、76、78、80、82、90 他 19、23、24、28、34、37、47、51、52、55、57、59、60、61、72、77、79、81、83、107 他 |
| 段階的な内容項目の配列がされ、順序性は適切で工夫されているか。 | ●基礎的・基本的な知識・技能を適切に習得できるように配列が工夫されている。地域や学校事情等によって順序の組み換えがしやすくなるように工夫している。 | 18～84、90～174、184～228、234～258、264～288 |
| 各項目に配当する授業数及び内容の分量は適切であるか。 | ●各内容、各項目に配当する授業数に応じて、分量を適切に配列している。 | 18～84、90～174、184～228、234～258、264～288 |
| 持続可能な社会の構築(SDGs)への対応は適切か。 | ●各内容の章末に「持続可能な〇〇生活」の節が設けられ、持続可能な社会を目指して考え行動できるように取り上げている。 | 82～84、172～174、226～228、256～258、284～288 |
| 内容・項目の系統性は適切であるか。 | <ul style="list-style-type: none"> ●それぞれの学習をストーリー性を考慮して配列している。 ●各内容・項目とも、基礎的・基本的内容の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開され、生徒の思考の流れに沿っていて、教科の特徴を無理なく具体化している。 | 18～84、90～174、184～228、234～258、264～288 18～84、90～174、184～228、234～258、264～288 |
| 主体的・対話的活動や言語活動が充実し、深い学びへの工夫がなされているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ●実践的・体験的活動を通して、話し合いの活動や思考する活動、意見を述べる活動などさまざまな言語活動ができるように設定されており、学んだ知識や技能を生活にいかす際に工夫する能力につながっている。また観察や実習の際の計画を立てる場面やレポート作成、考察・発表等の場面を学習過程の各所に設定している。 ●主体的・対話的・深い学びができるしくみにしている。 | 19、23、24、28、34、37、47、51、52、55、57、59、60、61、72、77、79、81、83、107、115、117、157、171、173、174、188、191、193、195、199、200 他 |
| 図表・写真・イラスト等は学習の内容に関連して適切に用いられているか。 | ●課題を解決するための手がかりや本文内容の理解を助ける科学的な資料を、効果的な表現や分量・大きさで示している。 | 28、48、83、92、93、100・101、104・105、106、124、126、136・137、152、187～190、194・195、228 他 |
| 各種マーク・キャラクター | <ul style="list-style-type: none"> ●生徒が関心や意欲をもって主体的に楽しく学習を進められるように、目立ちやすいマークが効果的に用いられている。また、キャラクターが登場して、疑問を投げかけたりつまづきやすい内容について注意を喚起したりして、学習上きわめて効果的である。 ●中学生キャラクターや、学習案内キャラクターを活用して、学習に取り組みやすいように工夫している。 | 19、20、23、24、25、28、30、31、34、37、47、51、52、55、57、59、60、61、68、72、73、77、79、81 他 20、21、24、25、30、31、34、37、46、66、67、70 他 |
| 現代的な話題や課題などを取り上げて、生徒が関心をもって学習に取り組めるような工夫がなされているか。 | ●MLBで活躍する選手やLGBTQなど現代社会で取り上げられている事例を掲載し、中学生が関心をもって学習に取り組めるようになっている。 | 13、80・81 |
| 発展的に学習する内容の工夫がなされているか。 | ●発展的な学習内容には「発展マーク」を付して明確になっている。 | 25、36、37、50、58 他 |
| 問題解決的な学習は、どのように扱われているか。 | ●全体を通して1問題発見→2課題設定→3計画→4実践→5評価・改善の順で学習を進めることによって、問題解決的な学習に取り組めるつくりが一貫している。 | 全体 |
| URLの記載やQRコードの記載によって、学習に効果的なコンテンツの提供がなされているか。 | ●項目や、実習・製作の頁にQRコードを記載することによって生徒がより主体的に学習に取り組めるように工夫している。 | 1、19、23、29、33、35、41、45、47、49、51、53、55、57、65、67、69、71、他 |

〔現代的な話題や課題などを取り上げて、生徒が関心をもって学習に取り組めるような工夫の例〕

MLBで活躍する大谷選手を掲載している。⇒p.12・13



〔生徒の主体的・対話的な学習の工夫がなされている例〕

「話し合ってみよう」などの学習活動を掲載している。⇒p.22・23



4 配慮事項

| 検討の観点 | 内容の特色 | 具体頁の例 (P.) |
|------------------------------|---|---|
| 小学校・高等学校との連携への配慮がなされているか。 | ●小学校の学習と関連する項目に「小学校との関連マーク」を設け、小学校で学んだ学習をふり返り、中学校の学習にいかせるようになっている。また、高等学校に関連が深い内容は「発展」として扱われている。 | 90・102・145・114・115・117・118・122・129・166・169・184・190・197・210・226・234・245・264・270・272・280・283・284・287・ |
| 特別の教科 道徳との連携についての配慮がなされているか。 | ●道徳と関連する内容には、「他教科との関連マーク」とともに具体的事項を示している。 | 31・207 |
| 他教科、技術分野との連携についての配慮がなされているか。 | ●他教科や技術分野と関連するページには、「他教科・他分野との関連マーク」をつけて具体的事項を示している。 ●奇数ページの右上には、それぞれの内容に関連する写真や資料が記載されており、生徒の興味・関心を促す工夫をしている。 | 23・31・35・45・61・77・81・91・93・99・101・103・105・107・117・119・125・127・137・145・153・155・159・163・165・167・173・207・237・241・245・247・249・265・267・269・271・273・275・279・281・283・285・287 19～287 |
| 日本の伝統的な文化についての配慮がなされているか。 | ●衣食住などの内容を関連させ、日本の伝統的な文化に関する内容が多数掲載されている。また、伝統文化を紹介している箇所には「伝統文化マーク」を付している。 | 208・209、240・241 |
| 地域性への配慮がなされているか。 | ●衣食住などの生活における地域性への配慮を十分にしている。 ●家族・家庭生活、地域の関わりが具体的な活動から理解できるように示されているとともに地域での生徒の生活と関連付けた学習が展開できる。 ●生徒の目が地域に向き、地域の人々との関わりの大切さを理解し、中学生が関心をもてる例が盛り込まれている。 ●地域性をいかした食材や調理例（郷土食・行食事）が伝統文化と関連を図りながら取り上げられ、それぞれの地域での工夫がしやすい。 | 33、71、76、80・81、228、257、258、274、282、287、288 33、71、76、80・81、228、257、258、274、282、287、288 158～165 |
| 安全・防災教育への配慮がなされているか。 | ●調理実習・製作実習等の際の安全について基本的事項としてまとめて適する場所に配置されている。また「安全マーク」が付してある。保育実習での配慮もしている。 ●防災について、本文での記述に加えて、本文以外にも特設ページを設けて、日常的な備えの重要性などについての記述がされている。また、防災関連の実習・製作例も取り上げられている。 ●防災に関する事項には「防災マーク」が付してある。 | 14・15、118、121、122、125、129、146、155、197、213、216 156・157、220、246～255 156・157、220、246～255 |
| 食物アレルギーへの対応がなされているか。 | ●食物アレルギーに対する正確な理解が得られる記述が本文にあり、食物アレルギーを含む食材についての情報を、調理実習例に具体的に記述している。 | 118、128～149、155 |

〔日本の伝統的な文化についての配慮がなされている例〕

日本の伝統的な文化について「伝統文化マーク」を付している。
⇒p.208・209



〔安全・防災教育への配慮がなされている例〕

防災教育について特設ページを設けている。⇒p.250・251



4 配慮事項

| 検討の観点 | 内容の特色 | 具体頁の例 (P.) |
|-------------------------------|---|---|
| 調理実習等に対して衛生上の配慮はなされているか。 | ●調理実習における衛生面での記述が充実しており、特に注意を促すところには「衛生マーク」を付している。 | 118、127、129、131～135、137、139～143、147・148 |
| 環境共生への配慮がなされているか。 | ●全体を通して学習内容と環境を関連付けて取り扱い、実践的態度が身に付けられるように細かい配慮がなされている。環境に配慮する視点の箇所には「消費・環境マーク」を付している。 ●環境を考へて物をいかして使う工夫の3つの視点(3R)に「断る」「修理して使う」の視点も加えた5Rが明確に記述されている。SDGsの、人へのまなざしの視点が充実して取り上げられている。 | 8・9、157、160、168、172～174、226～228、256～258、267、283 8・9、82、172、226、256、287・288 |
| キャリア教育についての配慮がなされているか。 | ●男女の区別や障がいの有無に関わらず、子どもから高齢者まですべての人が平等な関係であることを前提にして、記述や課題の設定・写真や図を工夫している。 | 4～15、22～35、78～84、205、235、258 |
| プログラミング教育への配慮がなされているか。 | ●身の回りにある電化製品(電気洗濯機)のプログラミングについて紹介している。 | 195 |
| コンピュータや情報通信ネットワークの活用がなされているか。 | ●コンピュータや情報通信ネットワークを使用して情報収集したり学んだことを発表したりして活用する場面を掲載している。 | 294・301・303 |
| カラーユニバーサルデザインに関する配慮がなされているか。 | ●カラーバリアフリーの観点から、図やグラフの輪郭や配色など、弱視の子どもたちに読み取りやすい配慮をしている。 ●一般財団法人日本色彩研究所による校閲がなされている。 | 全体 |
| 特別支援の観点に配慮がなされているか。 | ●実習・製作を横流れに統一して作業手順を明確にしている。 ●「項目名」「学習の目標」「ふり返り」など、それぞれ学習内容が呼応できるような紙面構成や配置などから、スムーズに関連性が理解できるようになっている。 ●本文と参考、資料等の区分も明確になっていて、生徒に伝わり、見開きページが有効に活用されていて、扱いやすい教科書となっている。 | 117、121、128～135、137～143、146～149、164・165、196・197、208・209、218～225 他 全体 |

〔環境共生への配慮がなされている例〕

持続可能な社会の構築に向けてSDGs17の目標と、その取り組み例を示している。⇒p.8・9



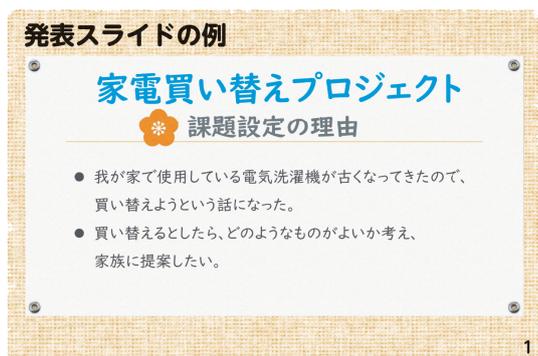
〔キャリア教育についての配慮がなされている例〕

働く人のインタビュー記事を掲載し、キャリア教育につなげている。⇒p.62・63



〔コンピュータや情報通信ネットワークの活用がなされている例〕

コンピュータソフトの活用例として掲載している。⇒p.303



〔特別支援の観点に配慮がなされている例〕

特別支援の観点から、手順を横流れに統一している。⇒p.218・219



5 造本や体裁

| 検討の観点 | 内容の特色 |
|-----------------------------------|--|
| 印刷は鮮明で見やすいものであるか。 | <ul style="list-style-type: none"> ●印刷は鮮明で、カラー効果がいかされている。 ●再生紙を使用すると共に、植物性のインクを使用していて、環境に配慮している。 |
| 製本は堅牢で使いやすいものであるか。 | <ul style="list-style-type: none"> ●製本は極めて堅牢で、表紙には水に強い加工が施され、長期の使用に耐えるものとなっている。 |
| 文字の書体や大きさは、児童の発達段階を考慮したものになっているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ●読みやすい書体・大きさに生徒の発達段階に考慮したものとなっている。 ●UD フォントを使用して、特別支援を必要とする生徒への配慮をしている。  |
| 文章表現は適切であるか。表現の工夫はなされているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ●ですます調のソフトな表現で、具体的にかつ正確に表記している。 ●中学校で学習する漢字については、見開きページごとの初出箇所にふりがなをつけている。 ●重要語句は太字(ゴシック体)にして、表記のめりはりをつけている。 ●本文では文節が途中で途切れないような分かち書きが意識され生徒が読みやすく、特別支援への対応も配慮している。 ●タイトル名は、学習がイメージでき課題意識を高める表現になっている。 |
| 環境に配慮されているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ●印刷に使うインクは植物性のインクを使用していて、環境に配慮している。 ●再生紙を使用すると共に、植物性のインクを使用していて、環境に配慮している。  |
| 表紙は魅力的なものであるか。 | <ul style="list-style-type: none"> ●イラスト全体を通して、主人公である中学生を中心として、生活していくなかで多様な人と出会い、ともに生きていく様子を躍動感いっぱいに表示している。教科書のサブタイトル「自立しともに支え合う生活へ」がイメージしやすく、ガイダンスの入り口として活用できる。 |
| レイアウトは見やすく、学習しやすい工夫がなされているか。 | <ul style="list-style-type: none"> ●実習や製作は横流れに展開されており、生徒が主体的に学べるレイアウトになっている。 ●特別な支援を要する生徒にとって、学習の流れが統一的に示されていることによって、安心して落ち着いて学習に取り組むことができる。 ●本文と図表・写真の関係がわかりやすい配置になっている。 |

・QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

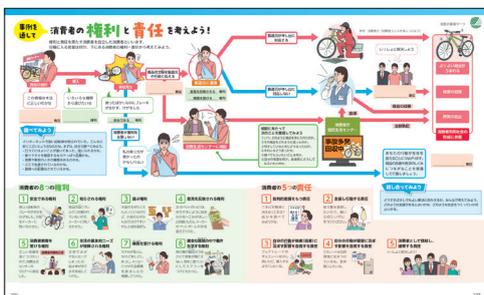
〔基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着を図るための内容の充実への対応の例〕 p.96・97



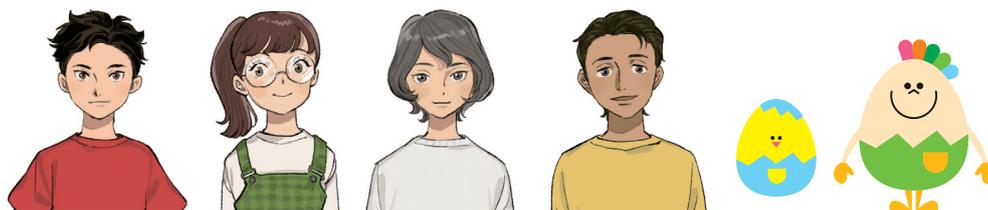
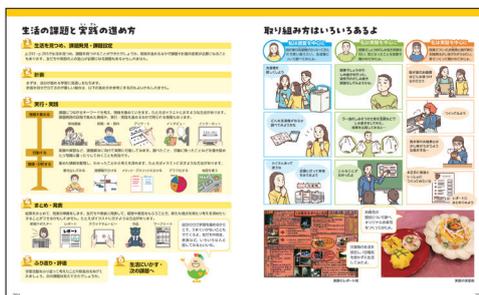
〔日本の伝統的な文化についての配慮がなされている例〕 p.240・241



〔消費者教育に関する内容の充実への対応の例〕 p.276・277



〔問題解決的な学習の扱い方の例〕 p.294・295



開隆堂出版株式会社

本社 〒113-8608 東京都文京区向丘1-13-1 ☎03(5684)6111

北海道支社 〒060-0042 札幌市中央区大通西 11-4-21 52 京ビル7 階
 東北支社 〒983-0852 仙台市宮城野区福岡 3-10-7 サンライン第66ビル5 階
 名古屋支社 〒461-0004 名古屋市東区桑 1-15-18 オフィスザンパゴヤ9 階
 大阪支社 〒550-0013 大阪市西区新町 2-10-16
 九州支社 〒810-0075 福岡市中央区港 2-1-5 FVCビル3 階

☎011(231)0403
 ☎022(742)1213
 ☎052(908)5190
 ☎06(6531)5782
 ☎092(733)0174

BD